snow peak
natural lifestyle creator since1958

TP-680/ランドロックPRO.

取扱説明書 ver.1.00

TP-680

このたびは、スノーピーク製品をお買い上げ頂きまして、誠に有り難うございます。
安全にご使用頂くためにも本取扱説明書を必ずお読みください。
取扱説明書は大切に保管してください。

注意事項

フィールドでは予測不可能な事態が突発的に発生し、時にはプロダクツの性能を超えるような状況に直面する場合もあります。以下の説明がすべての危険な状況を説明している訳ではありません。プロダクツの性能をよく理解したうえで安全なキャンプをお楽しみください。

火気厳禁

□本製品の素材は難燃性ではありません。本製品内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなど裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れや、炭火や練炭の使用による酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。

□本製品内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

天候・気象状況

□気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。万一悪天候にみまわれたり、強風時などにはペグや張り綱がしっかりとつながれているかなどを点検してください。

□急な積雪により、ドアパネルのマッドスカートが雪で覆われたり、天井部に高く積ったりすると危険です。こまめに除雪したり入り口を開けるなどして換気にも注意をしてください。

設営・設営場所

□風の吹きぬけるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけのよい平坦な場所を選んで設営してください。

□燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなど熱源のそばで組み立てたり、使用しないでください。万一熱源が転倒したり落下しても延焼しない距離を保ってください。

□たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。特に風下側では火の粉を被り、生地に穴をあけてしまう場合があります。

□樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを痛めます。

□本製品の設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がハネ返るなどして思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。

□必ずペグを打ち込みしっかりと固定してください。

□弊社のテント、タープ、リビングシェルなど縫製製品は常設用ではございません。

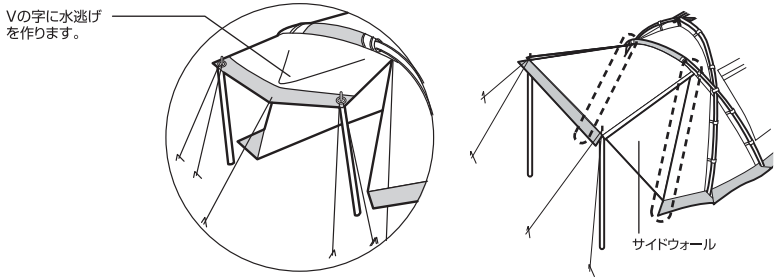
初めてお使いになる前に

□品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

□縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、ドアパネルや窓のファスナー部分、テープを縫いつけた部分等、製造の都合上或いは構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨の時などは、縫い目から雨水が侵入することがあります。ご購入時は、シーリング加工は行なっておりませんので、付属のシームグリップ剤であらかじめ縫い目に表と裏からシームグリップ剤を縫い目にそって、塗布してからお使いください。

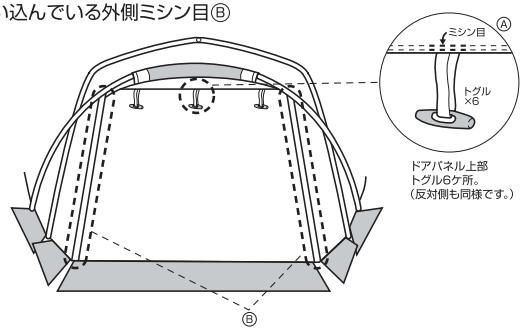
□本製品は結露を軽減する機能を有しておりますが、防止するものではございません。悪条件が重なった場合、本体内部に多量の結露が発生する場合がございますのでご注意ください。

■降雨時の跳ね上げドアパネルは水が溜まりやすくなりますので、ポールを斜めに倒し勾配を付けるか、ポールを短く使い、全面中央を大きくV字にロープで下げて水の逃げ道をつくってください。なお、降雨時にサイドウォールをセッティングした際、構造上、点線部のファスナーレールから水が漏れます。あらかじめご了承の上、ご使用ください。



■下記の場所は製品構造上シーム処理ができない為、水が侵入する可能性があります。下記の場所及び浸水が確認された箇所の外側ミシン目にシームグリップ剤を塗布し糸目からの水の侵入を防いでください。

1.ループやトグルを縫いとめているミシン目Ⓐ
2.ファスナーレールを縫い込んでいる外側ミシン目Ⓑ

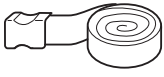


■セット内容　※ご使用の前に、付属品が全て揃っているかを確認してください。

ペグケース×1

ジュラピンペグ×29本

シームグリップ剤×1

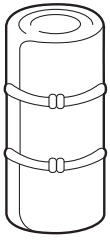

セーフティーベルト×2

取扱説明書（本書）×1

フレーム収納ケース×1

Aフレーム×2
Aフレームリッジポール×1
Cフレーム×2
センターフレーム×1

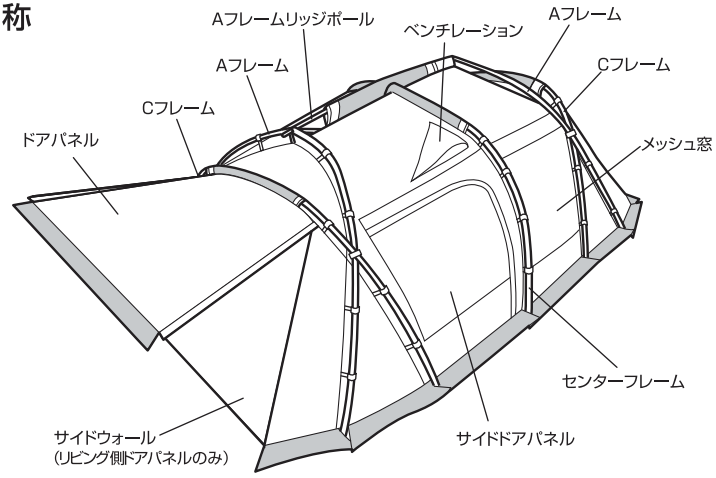
三角自在付ロープ
2.5m×4、3.5m×6、
1.5m×2、


ランドロックPRO.（フライシート×1、インナーテント×1）
コンプレッションベルト×2

本体収納ケース×1

□セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、φ3mmロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。

■各部名称

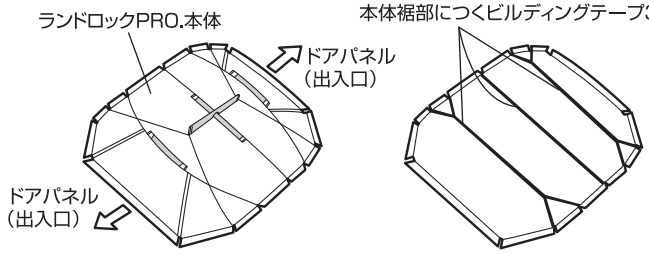


設営の手順

より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

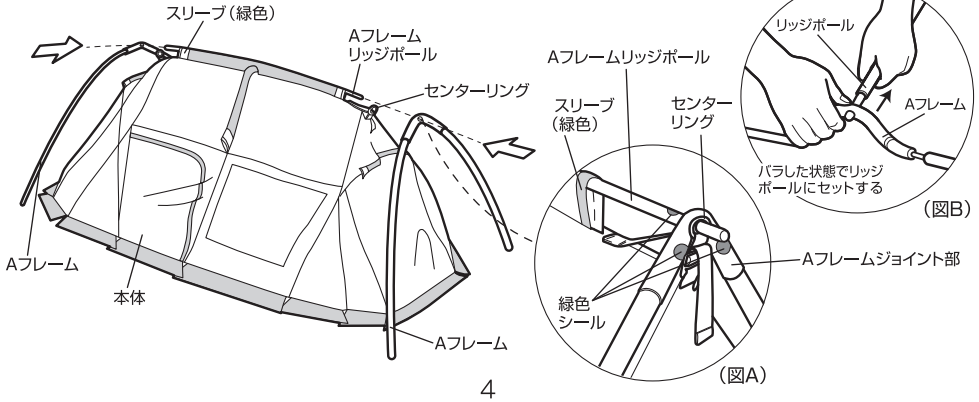
①本体を設営しようとする場所に広げます。その時2つある出入口用ドアパネルの向きを考慮してください。

注)ビルディングテープ3本ともバックルが接続されている事を確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続をしてください。



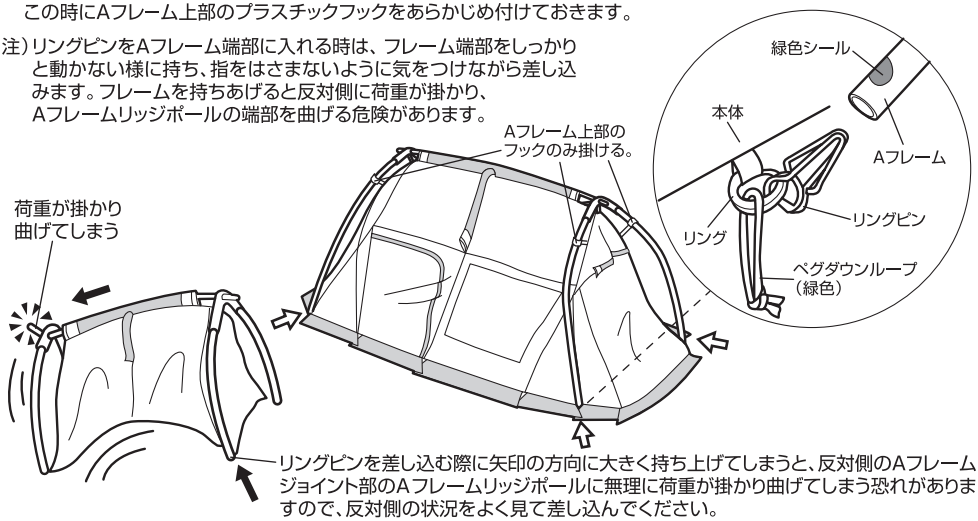
② 初めに、緑色の印がついたAフレームリッジポールを真中の緑色テープのスリーブに入れます。そしてAフレームジョイント部についている2個の緑色シールが外側に向く様にリッジポールをさし込みます。リッジポールの端がAフレームジョイント部の穴に最後までしっかりと入った事を確認し、センターリングをリッジポールの端に引っ掛け、センターリングのテープのテンションを掛けます(図A)
次に反対側のAフレームにもリッジポールを差し込み、同様の作業を行います。

注)この時点でセンターリングを引っ掛けていないと、本体生地(スリーブ)が偏り、Aフレームリッジポールの破損につながる恐れがあります。
Aフレームをリッジポールにセットするときには、Aフレームを全て繋げてからセットせずに、左右上の1本以外はバラしたままリッジポールにセットしてください。(図B)セットしてから立ち上げることで接合部へのストレスを減らし楽に設営できます。



③本体の裾部にある緑色紐が付いたリングピンを持ちAフレームに差し込みます。(4ケ所)
この時にAフレーム上部のプラスチックフックをあらかじめ付けておきます。

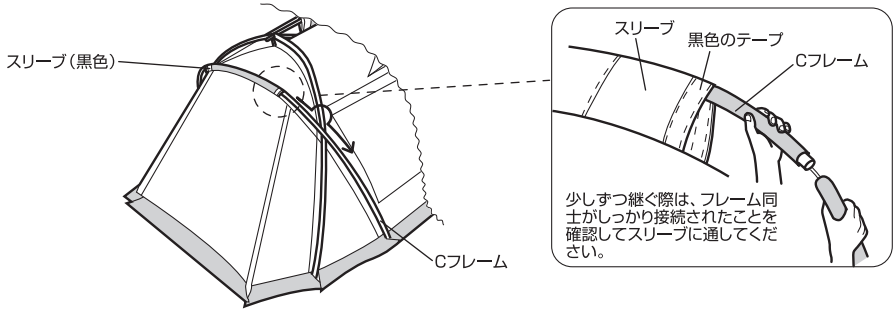
注)リングピンをAフレーム端部に入れる時は、フレーム端部をしっかりと動かない様に持ち、指をはさまないように気をつけながら差し込みます。フレームを持ちあげると反対側に荷重が掛かり、Aフレームリッジポールの端部を曲げる危険があります。



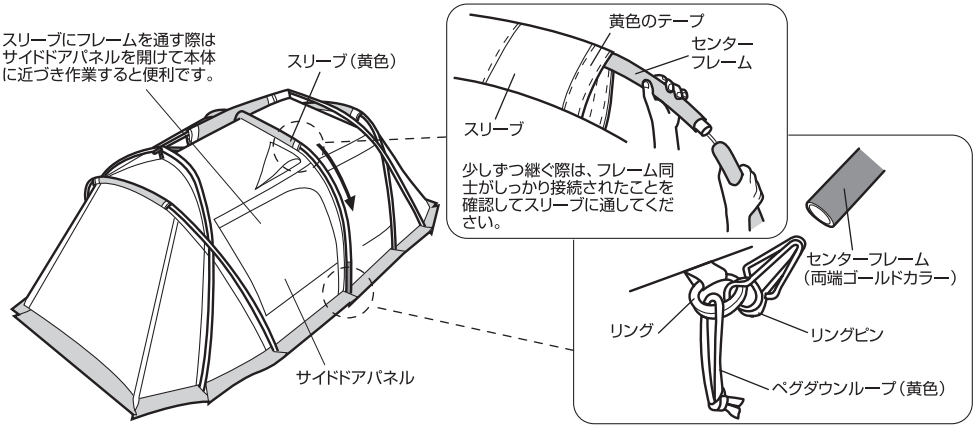
リングピンを差し込む際に矢印の方向に大きく持ち上げてしまうと、反対側のAフレームジョイント部のAフレームリッジポールに無理に荷重が掛かり曲げてしまう恐れがありますので、反対側の状況をよく見て差し込んでください。

④ 黒色の印がついたCフレームを少しずつ継ぎ黒色のテープがついたスリーブに通していきます。次に③同様にリングピン(黒紐付き)を差し込みます。片側のCフレームを立てた後もう一方のCフレームも同様に立ち上げます。

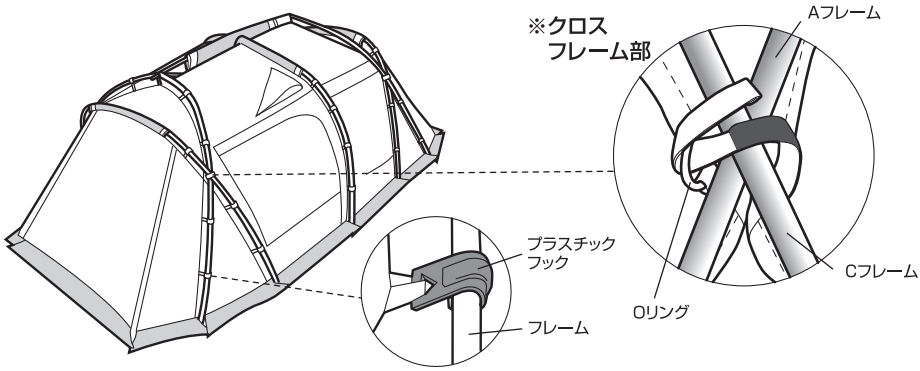
注)Cフレームも、少しずつ継ぎスリーブに通します。CフレームはAフレームの外側を通します。



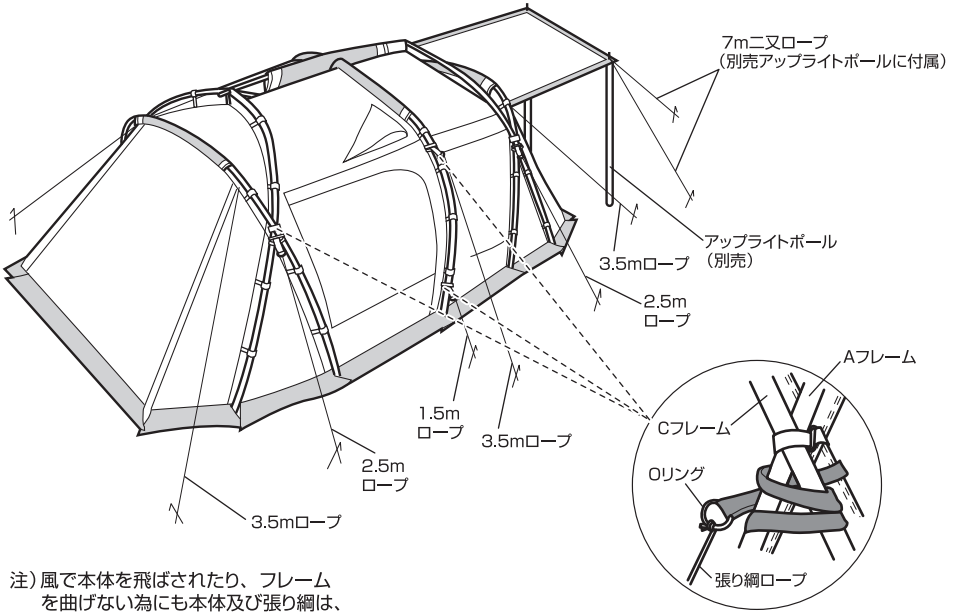
⑤ 両端がゴールドカラーのセンターフレームを少しずつ継ぎ、本体センターにある黄色のテープがついたセンタースリーブに通していきます。次に③同様にリングピン(黄紐付き)を両端のフレームエンドに差し込みます。



⑥ Aフレーム/Cフレーム/センターフレームに各々上から下へ順々にプラスチックフックを掛けます。
クロスフレーム部はベルクロ付テープをOリングに通して固定します。



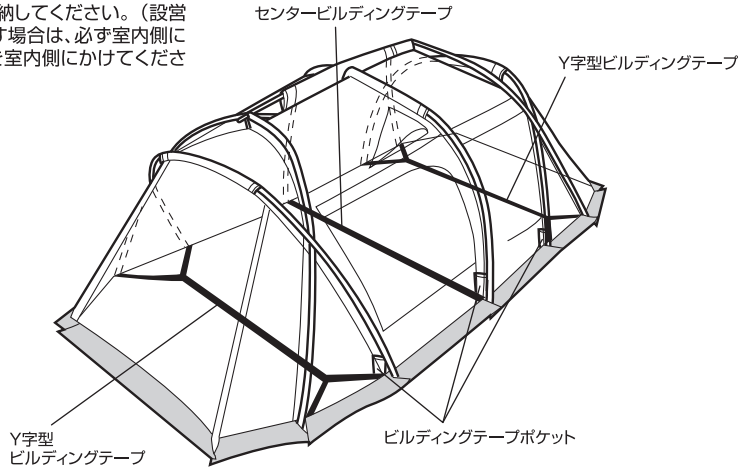
⑦裾部リングピンに付いている、ペグダウン用ループ及びテープにジュラピンペグを通し、全て室内側でペグダウンをします。また、付属の張り綱ロープも、しっかりペグダウンします。出入口用ドアパネルを張り出す場合は別売のアップライトポール（TP-080）を使い二又のロープで立ち上げてください。シワが残らない様にロープの方向を調整してください。



注）風で本体を飛ばされたり、フレームを曲げない為にも本体及び張り綱は、しっかりとペグダウンします。

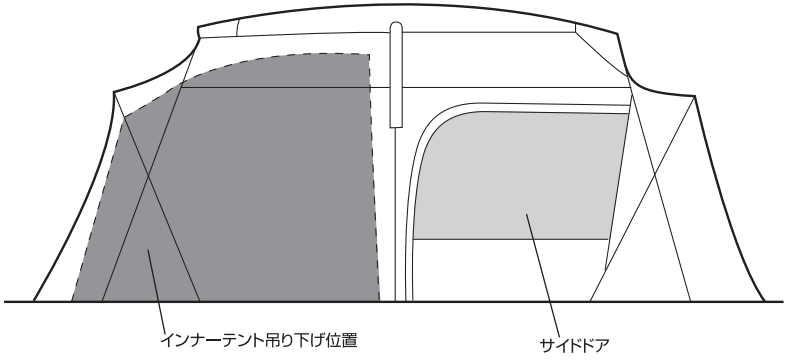
※クロスフレーム／センターフレーム部の張り綱は、本体に縫い付けられているOリング付テープをクロスフレーム／センターフレーム部に、一回転させてから、張り綱にテンションをかけます。

⑧ 必要に応じて最後にビルディングテープのバックルをはずし、テープをポケットに収納してください。（設営後にビルディングテープを外す場合は、必ず室内側にペグダウンをしてテンションを室内側にかけてください。）

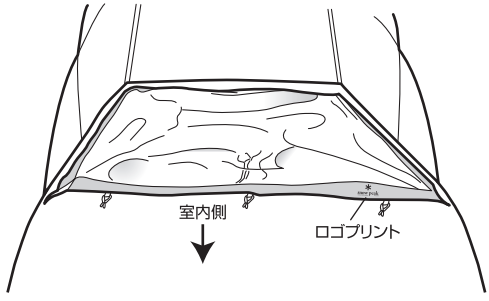


■インナーテントの設営

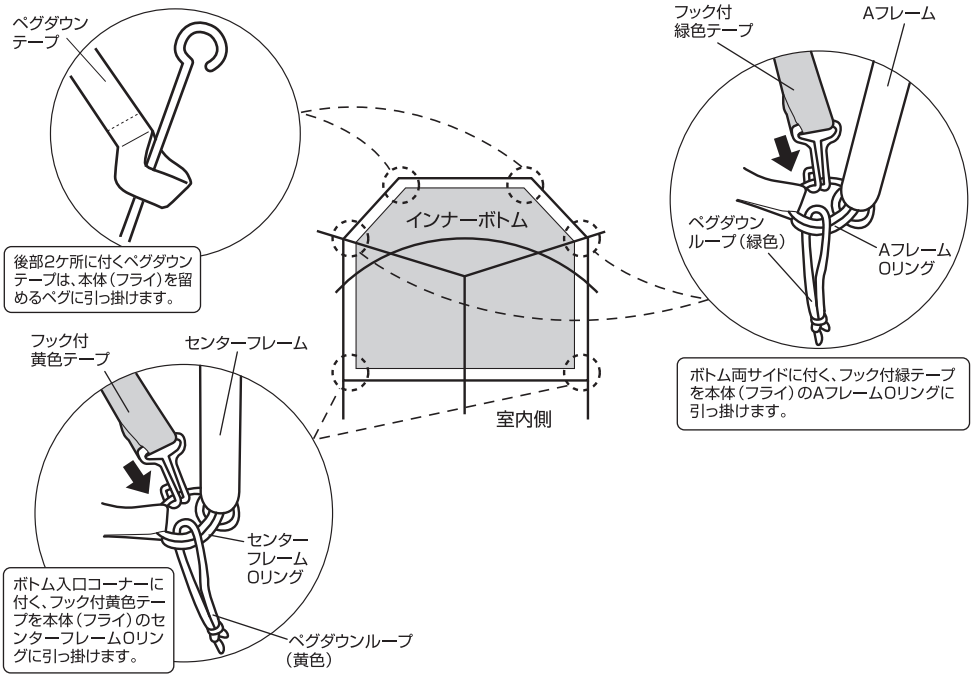
※インナーテントは、ランドロック本体のサイドドアが無い側の室内に吊り下げます。
（サイドドア側には、インナーテント取付用のOリングがないので取付けられません。）



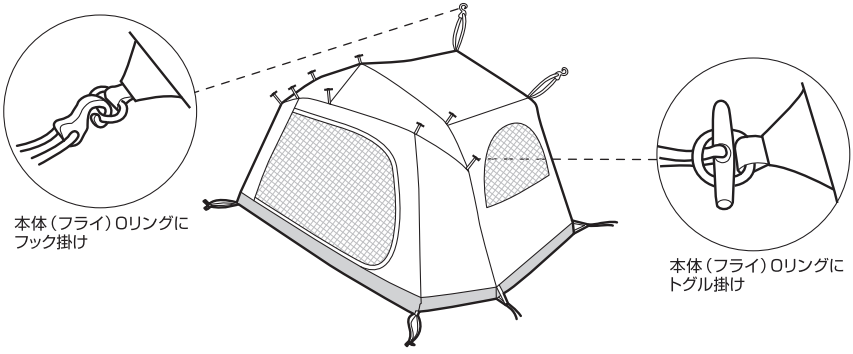
①インナーテントの前後を確認して、ランドロックの室内に広げます。
（インナーテントはボトムにロゴプリントが入っている方が室内側になります。）



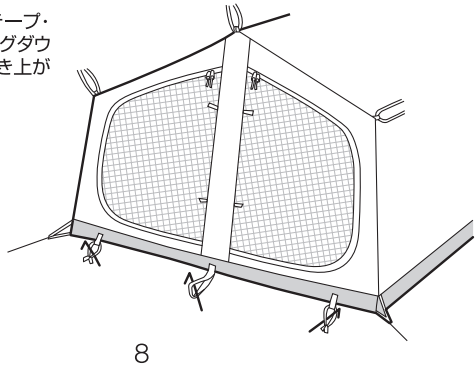
②インナーテント各ボトムコーナーに付くフック・ゴムループを本体（フライ）のOリング、ペグに引っ掛けます。



③インナーテント上部に付くフック・トグルを本体（フライ）のOリングに全て引っ掛けていきます。



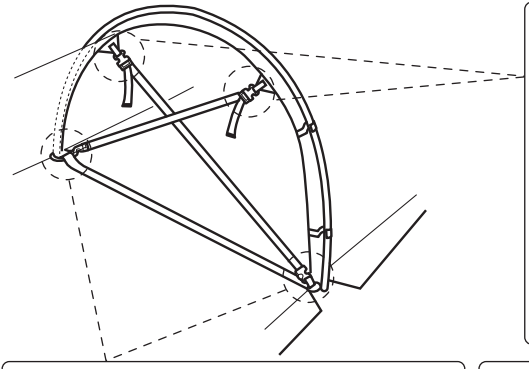
④最後に出入り口下部にあるペグダウンテープ・ゴムループをペグダウンします。このペグダウンをする事で、ドア開閉の際のボトム浮き上がりを軽減し、開閉しやすくなります。



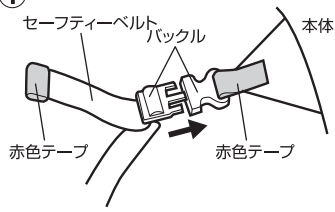
■セーフティークロスベルトの活用

本製品には、強風時に側面からの風に対して安定性を保つセーフティークロスベルトを付属しています。センターフレーム内側に下図のようにセッティングします。

警告 セーフティークロスベルトは、あくまでも補助具です。あらゆる悪天候に耐えられるものではありません。一時的な強風時や、即座に撤収が困難な場合にのみご使用ください。セーフティークロスベルトに体重をかけるなどしないでください。破損の恐れがあります。

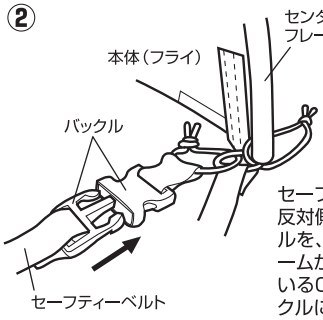


①



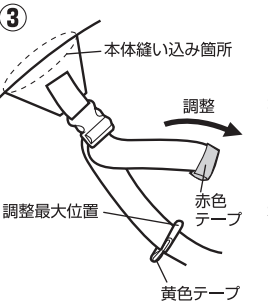
セーフティーベルトの先端に赤色テープが付いているバックルを本体（フライ）室内側上部の赤色テープで縫い留められているバックルに差し込みます。

②



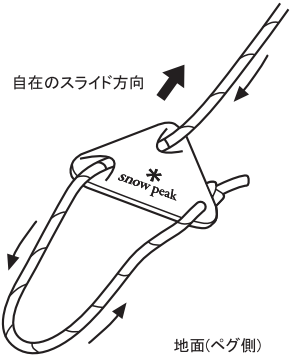
セーフティーベルト反対側に付くバックルを、センターフレームが差し込まれているOリングのバックルに差し込みます。

③



最後にテープ全体にテンションが掛かるように、テープを調整します。この時、強く引き過ぎると本体縫い込み箇所を破損する恐れがありますので、調整最大位置を超えてテンションをかけないようにしてください。

■三角自在の使い方



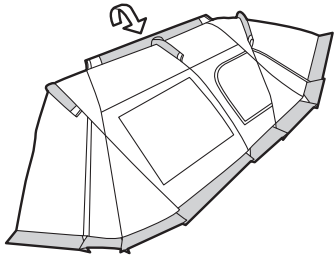
ロープにテンションを掛けるには、矢印の方向にロープを移動しながら自在を上方向にスライドさせます。

■収納時の注意事項

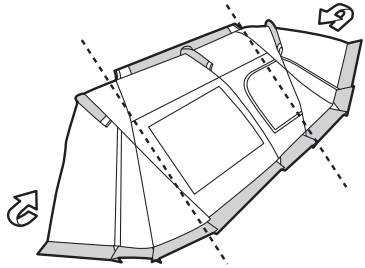
□ 十分に乾燥してから収納してください。
□ 設営後ビルディングテープを外した場合は、撤収の前にビルディングテープのY字型とI字型のバックルをセットします。
次回設営時にペグダウンの位置が決まりやすくなります。
※Y、I 字型部のペグダウンを本体の外側から行なった場合本体が広がり、撤収時に再セットしにくくなりますので室内側でペグダウンされることをお勧めします。
□ フレームをピンから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
□ スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押して取り出してください。
※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあり生地を傷める場合があります。
□ フレームは中央から端に向かって折り畳んでください。
端から折り畳むとショックコードに負担がかかり伸びや切れ、フレームの曲がり、折れの原因になります。
□ ペグを全て抜き、よごれを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。

■ケースへの収納（収納する際は、事前にインナーテントを外します。）

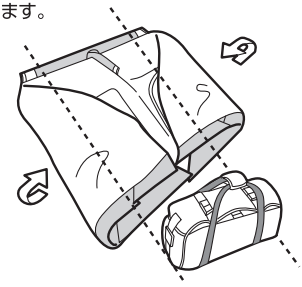
① センタースリーブを中心に2つ折りにたたみます。



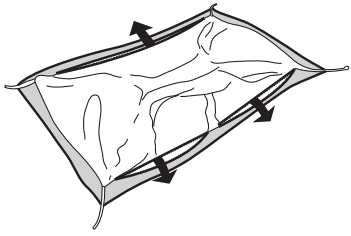
②長方形になるように両サイドを内側にたたみます。



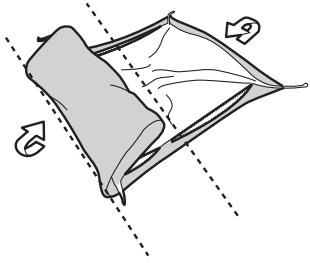
③長方形になった本体（フライ）を本体収納ケースサイズに入る幅にたたみます。



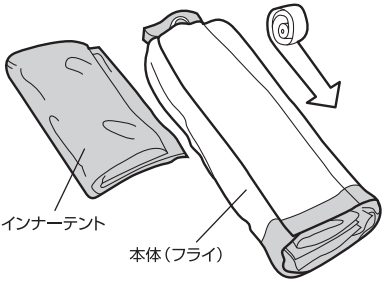
④インナーテントドアパネル下部のファスナーを空けておきます。



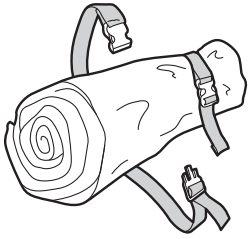
⑤本体（フライ）同様に、本体収納ケースサイズに入る様にたたみます。



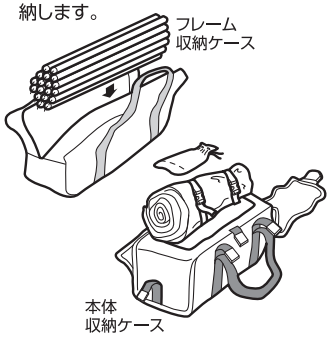
⑥ケース幅に折りたたんだ本体（フライ）を裾部に向かって空気を出す様に巻いていきます。インナーテントは④で開けておいたファスナーに向かって、空気を出す様に巻いていきます。



⑦本体（フライ）とインナーテントをまとめて、付属のコンプレッションベルト2本を掛け絞ります。



⑧フレームは、フレーム収納ケースへ本体（フライ）とインナーテント、ペグは本体収納ケースへそれぞれ収納します。



永くお使い頂くために

スノーピーク製品の優れた品質は正しい取り扱いとメンテナンスにより維持されるものです。プロダクツの機能を損なわないためにも、以下のポイントに留意してください。

応急処置

- □ 不測の事態によりフレームや、本体生地が損傷する場合がありますので、リペア用品（ガムテープ、ビニールテープ、添え木になるようなパイプなど）を携行し、速やかに応急処置を施してください。損傷したまま放置すると、大がかりな修理が必要になったり、修理不能になる場合があります。損傷度合いが激しいものは速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、撤収してください。
- □ 本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったときは、傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、撤収してください。
- □ フレームが折れたときは速やかにリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

撥水・防水性能について

- □ いずれの生地にも高性能の撥水加工を施しておりますが、生地の特性上、撥水性能（撥水の仕方や耐久性）に若干の差が見られる場合があります。ご了承ください。
- □ 撥水･防水加工の生地を使用しておりますが、経年劣化または使用頻度により機能が低下します。撥水性が衰えてきたときは市販の撥水スプレーを使用してください。防水性が衰えてきたときは市販の防水液を使用してください。（スプレーをご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。）
- □ 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合がございます。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- □ 強力な撥水材の影響によりロゴマークが剥離する場合がございます。

紫外線の影響について

- □ 本製品の生地はUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地の強度劣化を緩和します。

※ UVカット加工は、紫外線による人体への影響や素材劣化を防止するものではありません。

- □ GRAYの生地は遮光ピグメントPU加工を施しています。遮光ピグメントPU加工は生地を透過して室内に入る太陽光を軽減します。

※ 遮光ピグメントPU加工は、太陽光及び紫外線を遮断するものではありません。また、太陽光や紫外線による人体への影響や素材劣化を防止するものではありません。

- □ テント素材は長期間日光にさらされた場合、退色や強度低下などの劣化を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- □ 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- □ 本製品は生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、若干の色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また濡れたままの保管は避けてください。
- □ 濡れたまま保管すると、カビや異臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因となりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- □ カビが生えてしまった場合、付着した色を除去することは出来ません。表面に出ているカビを取り除き、アルコールなどで除菌してください。また、カビによりPUが破壊され水漏れが発生する場合がございます。
- □ フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。またフレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- □ 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- □ ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系潤滑剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- □ 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
- □ シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合がございます。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変質したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングがいっしょに剥離された場合、修理できなくなる可能性がございます。
- □ ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- □ 次回のキャンプに備え、ペグなどの付属品も含め十分に保守、点検をしてください。

修理について

- □ 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- □ 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- □ 修理品には修理箇所がはっきりと分るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- □ 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。

1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は、弊社にて負担いたします。
2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

TP-680 ランドロックPRO.

●セット内容: 本体（フライ、インナーテント）、Aフレーム×2、Cフレーム×2、センターフレーム、リッジポール、セーフティーベルト×2、ジュラピンペグ（21cm×29）、三角自在付ロープ（1.5m×2、2.5m×4、3.5m×6）、シームグリップ剤、ペグケース、フレームキャリーバッグ、本体キャリーバッグ、取扱説明書

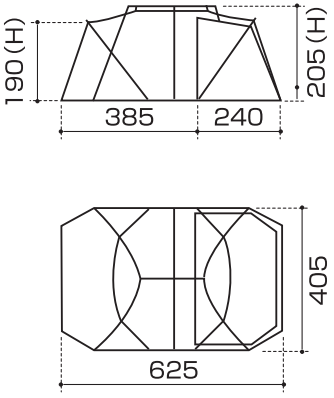
スペック

●材　　質: フライ本体:210Dポリエステルリップストップ·遮光ピグメントPUコーティング耐水圧3,000mmミニマム、UVカット加工、テフロン撥水加工（GRAY部）、210Dポリエステルリップストップ·PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、UVカット加工、テフロン撥水加工（BEIGE部）
フレーム:A6061（φ16mm、φ19mm、φ22mm）
インナーテント:ウォール/75Dポリエステルリップストップ、ボトム/300Dポリエステルオックス耐水圧10,000mmミニマム

●収納サイズ: W810×D500×H350mm（本体）
W740×D230×H200mm（フレーム）

●重　　量: 26.5kg（本体、付属品含む）

単位はcm



品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社にご相談ください。製品上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は、弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので、予めご了承ください。

1.取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2.素材の経年劣化による製品の寿命。
3.改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4.不測の事故による製品の故障。
5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6.ゴミやサビによる故障。
7.分解したことによる不具合の発生または破損。
8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9.消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10.他社製品との組合せによる故障。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
スノーピークユーザーサービス係
0120-010-660（9:00～17:00）
E-mail:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp
MADE IN CHINA